中部版

地域の催しは静岡支局へ ☎054(255)5121

静岡土木

麻機遊水地の加藤島、立石 2エリアで掘削工

静岡県静岡土木事務所は、2級河川巴川の総合治水対策事業として麻機遊水地の加藤島エリアと立石エリアの掘削工を計画している。加藤島エリアは7～8月、立石エリアは6～7月に制限付き一般競争入札で工事を発注する予定だ。

掘削工を計画する麻機遊水地

加藤島エリアの掘削工は掘削土量約1万立方㍍を見込む。掘削土の中で質のよいものは同エリアに隣接する豊地エリアの築堤材として活用する予定だ。施工場所は静岡市駿河区加藤島地先で、工期は約7カ月を見込む。

立石エリアも掘削土量は約1万立方㍍。掘削土は残土として処分する予定。施工場所は同立石地先。工期は約7カ月。

21年度に実施する加藤島と立石両地先の掘削工完了で、同遊水地2工区のうち安東川と立石、加藤島エリアの整備が完了する。22年度以降は豊地エリアの築堤や掘削工に着手する方針。

麻機遊水地周辺は、周囲と比べて土地の高低差が無く川の流れが緩やかなため、浸水被害の発生が課題となっていた。県は浸水被害解消のため、同遊水地の整備を決め整備工事を継続している。

早ければ下旬

静岡市／清水森林公園の橋梁建設

静岡市は、清水森林公園の橋梁建設を計画しており、早ければ6月下旬に発注する。指名競争入札を検討しているが、現状、工種も含めて未定となっている。

事業は、西里地内の清水森林公園内の黒川に架かる歩道橋を整備するもので、以前に架かっていた橋梁(木造橋)の架け替えとして計画している。

歩道橋は中路式メタル橋で単径間を予定。橋長28㍍、幅員2・5㍍。橋台は、既設コンクリート橋台を増し打ちして利用する。

現場では主に渇水期施工となるため、年度末までの工期を見込んでいる。

設計は、建設コンサルタントセンター(静岡市清水区)が担当した。

静岡営繕の21年度事業概要

県警機動隊車庫棟

外壁改修など計画

国土交通省静岡営繕事務所は、2021年度事業概要を公表した。工事では、静岡県警察機動隊車庫棟外壁改修や清水地方合同庁舎内部模様替えなどを計画。設計・工事監理・敷地調査業務では、御前崎港湾合同庁舎改修設計や清水合同庁舎改修工事監理などを実施する。

工事では、静岡県警察機動隊車庫棟外壁改修、清水合同庁舎内部模様替えの他、清水港湾合同庁舎防火ダンパー他改修や田子の浦港湾合同庁舎給排水・建具工事など7件を行う。

業務委託では、御前崎港湾合同庁舎改修設計や清水合同庁舎改修工事監理の他、沼津地方合同庁舎改修設計や静岡地方・家庭裁判所沼津支部敷地調査など19件を委託する予定でいる。

また、建設業の働き方改革における今後の取り組みの方向性を受け、営繕工事における働き方改革の取り組みをパッケージ化。適正な工期設定や週休2日の推進、ICTの積極的な活用、書類の簡素化などにより働き方改革を進めていく。

内部模様替えを計画する清水地方合同庁舎

静岡市

施工能力I型で月内 古庄2・3丁目配水管敷設替

静岡市は葵区古庄2丁目・古庄3丁目の配水管敷設替えを、総合評価施工能力I型で6月中に発注する予定。同地区の配水管は1968年から73年に敷設、老朽化のため敷設替えを進める。

延長は647㍍。開削工を予定しており、敷設替え工、仕切弁設置工、消火栓設置工、給水切り替え工を予定している。施工箇所は6路線で工期は8カ月。

敷設替えは口径100㍉のダクタイル鋳鉄管延長466㍍を配水用ポリ塩化ビニル管366㍍と鋳鉄管100㍍に替える。口径150㍉のダクタイル鋳鉄管延長181㍍は鋳鉄管に替える。

仕切弁設置工は100㍉管に14基、150㍉管に3基を予定。消火栓設置工は5基設置を行う。さらに給水切り替え工を46カ所予定している。

場所は古庄2丁目・3丁目地内、日本通運静岡事業所付近。

設計は昭和設計(静岡市葵区)が担当。

同工事で古庄2丁目・3丁目の敷設替えは完了する。

清水港管理局

興津物揚場ブロック据付など

月内発注を予定

静岡県清水港管理局は清水港改修工事として、興津地区の物揚場整備を一般競争入札で6月中に発注する予定。物揚場新設のためブロックの据付などを行う。

新設する物揚場の延長は180㍍で、現場の水深は3・5㍍。基礎捨て石工、ブロック据付工、裏込め石工などを施工する予定で、工期は7カ月。

基礎捨て石工は60㍍の施工を終えており、本年度の延長は120㍍。規模は4000立方㍍を予定している。ブロック据付工は延長160㍍、残り20㍍は物揚場整備のため開けておく。ブロックは製作済みで、30㌧から45㌧のブロックを三段積みで120個設置する。

裏込め石工は埋め立て予定の埠頭(ふとう)用地側を予定しており、規模は5000立方㍍。整備後、防砂シートを敷く予定。

場所は興津中町。

設計は三井共同建設コンサルタント静岡営業所(静岡市駿河区)が担当。

FACE フェイス

静岡市海洋文化都市推進部長に就任した

野村 一正(のむら・かずまさ)さん

清水港の活性化を県全体へ

「静岡県の中でも清水港は観光客誘致や貿易など高いポテンシャルを持っている」

本年度から海洋文化都市推進部は本部から部に変更になり、課ができ係名も一新した。3年ほど同部で清水港利用の促進と、港と町の両方を発展させる「みなとまちづくり」に携わり、「自分たちの使命は、清水港に人を集め、その経済効果を周辺に波及させること。清水港周辺で市が管理する土地は少ない。県や民間と協力して初めてまちづくりは成立する」とし、「清水港の活性化を県全体に普及させたい」と展望を語る。

9月に中部横断自動車道が開通することから、「山梨や長野の観光客が清水に訪れ、交流人口が増加することを期待している」と話し、凍結してしまった海洋ミュージアム建設計画に関しても再スタートを目指し前向きな姿勢をのぞかせる。

趣味はツーリング。1967年生まれ。静岡市清水区出身、静岡市駿河区在住。(静岡支局・天野公太)

地域NEWS

橋本組が農水大臣表彰受賞

焼津漁港管理

静岡県焼津漁港管理事務所は7日、同事務所2階で「令和3年度漁港漁場関係事業優良者表彰」で農林水産大臣表彰を受けた橋本組(焼津市)への表彰状伝達式を開催した＝写真。同事務所の鈴木雅則所長が橋本組の橋本勝策会長に表彰状を手渡した。

伝達式の後、橋本会長は「表彰を非常に光栄に思う。これからもこの表彰を糧に漁業漁場整備を通じて地域のお役に立っていきたい」とあいさつした。

同表彰は、漁港漁場関係事業への理解を深めるとともに、漁港漁場建設技術の向上を図り漁港漁場関係事業の円滑な実施に資することを目的として他の模範となる請負業者を表彰するもの。受賞した橋本組は、長期間にわたり漁港漁場関係事業の工事の分野において、他の模範となる優秀な業績を残し、水産業と漁村の発展への多大な貢献が評価された。

例年、農林水産省で表彰式が開催されているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から同事務所での伝達となった。

地域貢献

麻機遊水地福祉農園で田植奉仕

古川組静岡支店

古川組静岡支店(静岡市清水区、村松正志支店長)は、静岡市葵区の麻機遊水地「福祉農園」で、地域貢献活動の一環として田植え作業を行った。

指導・支援を行う古川組社員

同社は麻機遊水地第3工区で計画されている福祉農園づくりを支援しており、秋には育った稲刈りや脱穀も予定している。

新型コロナウイルス感染症対策、熱中症対策をして参加した15人は、福祉農園づくりのボランティア活動に参加している他企業からの参加者とともに、稲の苗を等間隔で植えた。植え方や間隔の調整など指導や後方支援にも当たった。

小学校自然体験畑作りに協力

柳澤組

柳澤組(川根本町、菊池松巳社長)は、川根本町内の本川根小学校で畑作りに奉仕活動として協力した＝写真。

社員ら4人が参加。同校が主催する児童らの自然体験「やまびこ自然教室」の一環として、児童が作物を植えるため、校庭隅にある約400平方㍍の土地をバックホウで掘り返し、畑を作った。

同社では、重機での作業が必要な際には奉仕活動として協力し、年2回空き瓶やアルミ缶、段ボール、古新聞などの資源回収作業時には、2㌧積みダンプトラックを無償で貸し出している。